

平和が大好き、憲法9条が大好き

生協労連・憲法闘争ニュース

2008年1月15日
第2号

生協労連

電話 03(3408)0067
qyg03057@nifty.com

生協労連第1回憲法闘争交流会の案内

生協労連憲法闘争本部は12月19日に第2回の憲法闘争本部会議を開催し、この間の憲法をめぐる情勢やとりくみを交流するとともに、当面の憲法問題のとりくみを確認しました。合わせて、4月5日(土)～6日(日)まで生協労連第1回憲法闘争交流会を開催することを確認しました。

生協労連第1回憲法闘争交流会

日程：4月5日(土)～6日(日)

開催場所：神奈川県横須賀市

会場・宿泊・ホテルトリニティ横須賀

<日程(案)> *確定ではありません

5日(土)

14:00 開会

- ・コープかながわ九条の会からのあいさつ
- ・交流会への問題提起
- ・イラクからのビデオメッセージ
- ・特別報告「米原潜母港化反対のたたかい」
- ・記念講演

「憲法の輝きを世界のすみずみに」

講師：伊藤千尋さん

18:30 夕食交流会

6日(日)

09:00 全体討論

憲法闘争の交流

11:00 横須賀基地調査

13:00 終了

<プロフィール>

伊藤千尋(いとう・ちひろ)



1949年山口県生まれ。大学時代の71年にキューバで砂糖キビ刈り国際ボランティアに参加。73年に東大法学部を卒業し、東大「ジブシー」調査探検隊長として東欧を現地調査。74年朝

日新聞社に入社。長崎支局、東京本社外報部などを経て、84～87年サンパウロ支局長(中南米特派員)、88年週刊誌「アエラ」創刊編集部員、91～93年バルセロナ支局長。その後、川崎支局長、「NGO・国際協力チーム」メンバーなどを務め、2001～04年ロサンゼルス支局長。04年9月から月刊誌『論座』編集部、現在は『be』編集部に所属。

世界65カ国を現地取材し、そこに生きる人びとの姿を伝えてきた。

2006年には、とくに「9・11」を体験した記者が語る世界と日本、「コスタリカと日本の平和憲法」などをテーマに50回を超える講演をおこない、07年も60カ所で講演会が開催された。世界各地を現地取材してきた体験からの話が、新鮮な感動をよんでいる。

参加申込書は別途送付します

新テロ特措法

再議決されても世論は「反対」が多数

1月11日、新テロ特措法が参議院で否決されたにも関わらず、与党は衆議院で再議決を強行しました。しかし、マスコミの世論調査では、反対が多数(13日の「朝日」では活動再会で賛成34.0%、反対48.0%、新テロ法は賛成36.0%、反対派40.0%)です。恒久法の制定を許さないとりくみをすすめましょう。

各単組での憲法闘争のとりくみから

コープしずおか九条の会

県西部地区役職員と組合員含め、生協九条の会を結成。昨年、10月14日池田香代子さんを招き学習会を開催、約50人が参加しました。

現在会員は30人で、九条ニュースは独自には発行せず、県九条の会ニュースに活動内容を投稿・配信しています。

九条の会・よどがわ市民生協

役職員と組合員含め、「九条の会・よどがわ生協」を05年9月に結成しました。現在の賛同者は315名となっています。

この間、メール&FAX ニュースをほぼ月1回約80名に配信してきています。

また、ホームページ開設、9条バッジを500個作成し、普及しています。

生協ひろしま平和憲法・9を考える会

「生協ひろしま平和憲法・9条を考える会」は、昨年の2月3日に、組合員・職員・理事会・労働組合などから101名が参加して結成されました。

当日は、記念講演で『憲法学習会』（講師は田上弁護士＝顧問弁護士・弁護士九条の会事務局長）を行うとともに、平和のリレートークで職員・組合員から9名が発言しました。



結成後は、田上弁護士や林辰也生協ひろしま理事長を講師に、お店を中心としての健保問題での連続学習会を開催してきました。昨年未までに8回開催し、多くの生協職員や生協組合員が参加してきています。

また、会のとりくみとして、憲法署名及び原爆症認定署名にとりくんできています。

今、3月22日に第22回総会を開催することで準備を進めています。

なお、会員は昨年の11月末までに470人にのぼっています。

この会の事務局を担っている生協ひろしま労組と生協ひろしまパート労組は、「賛同と加入」を呼びかけるチラシを出し、「平和とよりよき生活のために、一緒に行動しましょう」ととりくんでいます。

エフコープ生協労組

エフコープ生協労組は、地元の戦跡にも目を向け、合わせて憲法についても考えていこうと、1月12日(日)に「第1回 日本国憲法と北九州戦跡めぐり」を開催しました。

<参加者の感想>

北九州の戦跡めぐりははじめてのことだったのでとても良かったです。



<北九州の旧小倉造兵廠跡>

私の父が戦時中、長崎の稲佐山に兵隊でいるとき、原子爆弾が投下され、夫の安否を気づかって大村から長崎まで行ったときの話しを母からよく聞かされていました。

子育てをする中で、「平和」が一番大切なこと、戦争することは人間をけだものにすると思うようになりました。

今回の企画はとても良く、田村さんのお話も良かったので、次回はもっと多くの参加を募りたいのではと思いました。

今後は、福岡の戦跡めぐりも企画して欲しいと思います。ありがとうございました。